

TTC 提案山行実施記録表

2017.8.19 S.K 報告

山行名	鹿島槍ヶ岳・五竜岳山行計画書 [2889.1m・2814.1m 長野県、富山県]												
実施日	2017年8月11日(金)～14日(月) 3泊4日										交通アクセス：マイカー		
参加人員	参加者6名(男4名、女2名)、レベル：★★★★												
パーティスタッフ	CL: SL: ,会計: ,救護: 写真:												
参加メンバー	スタッフ省略												
費用 ¥39,500-	[内訳] ガソリン代@125*(270km+280km)/5=¥13,750-、高速料 2950+5100=¥8,050-、マイカー使用料 @10*550=¥5,500-、ドライバー謝礼@5000*2=¥10,000-、車回送料金扇沢～八方¥10,000-、リフト・ゴンドラ(@300*2+@950)*6=¥9,300- 交通費合計¥56,600- 種池山荘：@9500*6=¥57,000-、エンバール割引¥-1,000-、キレット小屋@9800*6=¥58,800-、唐松岳頂上山荘@9800*6=¥58,800-、入浴@700*6=¥4,200-、通信費¥1,000-、コーヒー¥400-、ガス¥300-、カンパ金¥900- 合計¥237,000-、一人¥39,500-												
所要時間	-	歩行時間				休憩時間				行動時間			
	-	8/11	8/12	8/13	8/14	8/11	8/12	8/13	8/14	8/11	8/12	8/13	8/14
	ガイドブック	4:05	7:00	7:10	3:00	-	-	-	-	-	-	-	-
	計画	4:15	7:20	7:30	3:20	1:20	1:50	1:50	0:40	5:35	9:10	9:20	4:00
	実行	3:55	7:30	9:20	2:45	0:55	1:50	1:55	0:45	4:50	9:20	11:15	3:30
実行コースタイム記録													
◆8/11(金) 天候：曇り													
本厚木(飯山)====圏央道====中央道====長野道====0:15 4:00====圏央厚木 IC====双葉 SA====安曇野 IC====道の駅安曇野松川====扇沢==== 1:15 2:25 柏原新道登山口-----ケルン-----種池山荘(泊) 9:10 10:40 (5+20+15) 13:45 休憩(15)													
◆8/12(土) 天候：曇り時々雨													
種池山荘-----爺ヶ岳(南峰)-----爺ヶ岳(中峰)-----冷乗越-----冷池山荘----- 5:45 (5) 6:35~45 7:10~15 8:05 8:15~30 (10) 1:05 0:30 0:25 2:10 布引山-----鹿島槍ヶ岳(南峰)-----吊尾根-----北峰-----キレット小屋(泊) 9:50~10:00 11:05~11:30 12:00 (5) 12:30~40 (15) 15:05													
◆8/13(日) 天候：晴れ時々曇り													
キレット小屋-----口ノ沢の科尔-----北尾根ノ頭-----五竜岳-----五竜岳山荘-----唐松岳頂上山荘 5:45 (15) 7:35 8:10~20 (5*4) 11:30~35 12:45~13:20 (30) 先発隊 15:20 1:35 0:35 2:50 1:10 3:10 本隊 17:00													
◆8/14(月) 天候：曇り													
唐松岳頂上山荘-----八方池-----八方池山荘~~~~リフト2回~~~~ゴンドラ~~~~八方==== 5:55 (5*3) 8:00~30 9:25~30 10:00~30 食事 長野道 中央道 圏央道 八方の湯====道の駅白馬====安曇野 IC====八ヶ岳 PA====圏央厚木====本厚木(飯山) 10:40~12:00 12:30~50 14:40~15:00 18:00													
コースの概要、特記事項、反省事項等													
出発4日前にはようやく台風5号が日本海側に抜けたので台風一過の晴天を期待していたが、その後も天気が定まらず不安定な状態が続いていました。幸い強風の心配はなかったので予定通り実施することにしました。また、直前に登山道の雪の心配もなくなったので、アイゼンの装備は不要としました。 8/11(金) お盆休みのスタート日の為、渋滞のピークが予想されていました。既に中央道下りは小仏トンネルで渋滞が始まっており、またATさんが飯山へ来るのに129が混んでいたとの情報により、迷わず相模湖ICから中央道に入ることにしました。こちらは空いており50分で中央道に乗れました。その頃は相模湖ICを先頭に既に圏央道も渋滞していました。中央道の双葉SAは混んでいたが、予定より早く扇沢に到着す													

ることができました。

車回送業者(アルペンキャリアサービス)と電話連絡を取り、駐車場所やキーとお金の受渡しについて確認を行なったが、係の人と会うことなく指定の所で引継ぎをしました。全く回送業者と会うことがなかったので、トラブル発生時には不安が残った。隣では回送業者の三溪社の人がお客さんを待っていました。今後利用するなら三溪社が良いと思い、後日ネットで調べたら立山や宇奈月への回送がメインで八方の料金表は載っていませんでした。

登山届を扇沢のポストに入れ、ストレッチを行ない予定より早く出発。一旦道路を下り、柏原新道登山口から登山道に入る。そこには臨時の登山届受付所が設置されており、係の人に登山届は既に提出済であることを伝え通過しました。今日は目的地の種池山荘までは登りが続きます。湿度も高く、時々日差しもあるため非常に蒸し暑い。登山道は整備されていました。雪渓が残っている沢筋を横切った直後にすれ違った家族連れの悲鳴とドドドーッとすごい音がして振り返ると雪渓が次々と沢に崩れて行きました。誰も巻き込まれた様子は無く、ほっとしたところです。

山小屋には予定よりも1時間以上早く着きました。部屋はキャンセルがあったために上段から下段へ変更になりました。ラッキー！！水は一人1リットル給水券が配布されました。夕食までの間、外へ出て生ビールで乾杯。雨がぱらついてきたため談話室へ移動し懇親会を行ないました。

夕食後に近くを散策しているとお花畑に雷鳥がいると声が掛かった。2羽こちらを見ながら餌をついばんでいました。逃げる気配もなく何か食べていました。

8/12(土)

朝食後、少し早めに出発できました。爺ヶ岳山頂が顔を出したりガスに隠れたりを見ながら進みました。爺ヶ岳南峰、中峰と軽快に進んでいたが、雨模様となり、カップを装着。鹿島槍ヶ岳に向かっていたが、山頂がガスに覆われ双耳峰が見えなかった。冷池山荘で休憩し布引山も登り鹿島槍ヶ岳南峰に向かっていくときに、また雷鳥に出会うことができました。親1羽に子が5羽もいました。登山道からちょっと離れた斜面で餌をついばんでいました。感激です！！

南峰で昼食を摂りましたが、ガスの為展望はほとんどありません。北峰に向かい吊り尾根を降り始めましたが思った以上に急勾配の為、ここからストックをしまうことにしました。岩場に多少不慣れなSMさんがいたので慎重に進むようにしました。北峰で集合写真を撮りこの後、八峰キレットに入りました。小雨のため滑り易くなっています。足場をしっかりと確認しながら降りたり登ったりを何度も繰り返しました。崖の間を縫うように進むと、八峰キレットの核心部の表示がありそこを無事にクリアー。突然眼下にキレット小屋が見えてきました。ようやく到着しました。八峰キレットの通過に時間が掛かりましたが、全体的にはほぼ予定通りの時間でした。

キレット小屋は予約制ですが、雨の為にキャンセルがかなり有ったようです。それでも予約無しの方が多く廊下や階段の隅に腰を降ろして休んでいる人が結構いました。飲料水は食堂においてあるタンクで自由に給水ができました。夕食までの間は、明日の英気を養うために缶ビールで乾杯し懇親会を行ないました。

夜中に外へ出て見上げると月と星がきれいに見えました。また劔岳の方から山小屋の明かりがチカッ、チカッと光っていました。

8/13(日)

山小屋からは眼前に劔岳が見えました。日の出は崖に隠れていて見ることはできませんが、西側に位置する劔岳の頂上から赤くなりしだいに下がってくるのが見えました。

日焼け止めの対策をし、朝食後多少早めに出発です。天気は良いが岩稜の急登や急な下りが連続しました。次のポイントの口ノ沢のコルまでは1時間で予定していたが、なかなか着きません。道標がもう無いのではと思った時に口ノ沢のコルに到着。ここまでの歩行時間は1時間35分掛かっていました。時間を気にしながら進むことにしました。行く手には五竜岳の全容が現われました。後ろには昨日登った鹿島槍ヶ岳の双耳峰がくっきりと見えていました。北尾根ノ頭を通過して間もなく雷鳥7羽に遭遇しました。登山道そばで餌をついばんでいます。今年初めて雷鳥に会ったと言うSRさんは3日間続けて遭遇できてご満悦のようでした。岩場やガレ場が続きG5の難所を通過しました。次はG4ですが、表示がないまま山頂に着いてしまいました。五竜岳山頂ではガスが掛かり遠くの山は望めませんでした。五竜岳山荘に向かいそこで昼食を摂ることにしました。五竜岳山荘ではきのこどんを食べました。キノコがたっぷり入っていて美味かった。SKiさんは此処のTシャツを手に入れるために来たのですが、念願が叶いゲットできました。五竜岳山荘は予定よりも1時間10分遅れていましたが、みんな元気な為、靴ヒモを締め直し、ストックを使い今日宿泊予定の唐松岳山荘に向かうことにしました。山荘の管理人に確認し、牛首付近までストックは使用できるとのことでした。

SKiさんから、先発隊に行ってもらった方が良いのではとの提案があり、確かにその方が良いと思います。そうすることにしました。山荘の予約は7名以上となっていた為連絡をしていますが、到着が遅くなるので先発隊をATさんとSKeさんをお願いし宿泊の手続きをお願いしました。二人を送り出した後は、多少遅くなくても大丈夫と言う安心感がありました。

大黒岳をトラバースし地図を見ると山荘までの距離は残りわずかでした。ところがここからが崖を降り牛首を登るとい、通過に時間の掛かる最後の難所でした。SMさんが疲れが出て来た様なので荷物の一部を分担して持つことにしました。水平距離は短いのですが、なかなか進みません。対面の岩壁から両手を振っている人がいました。先発隊のSKeさんが迎えに来てくれたのです。SMさんのザックを背負ってもらい、牛首のクサリ場を元気良く登りました。予想していた17時までには全員唐松岳頂上山荘に到着することができました。

宿泊手続きは済んでいたの荷物を部屋に置き、外へ出て生ビールでお疲れさまの祝杯を挙げました。山荘の飲料水については調理用の水1リットルが80円で飲料水500mlのボトルが300円でした。山荘のHPでは有料とは気がつかなかったのですが、登山地図には飲料水有料と書いてあるのが後から分かりました。水が少ない為、食器はプラスチック製を使用し使い捨てにしていました。宿泊者は多く部屋は混んではいましたが寝床は普通にスペースの確保はできました。ただし、上段だったこともあり暑くて寝苦しいのと布団が湿気で重かったです。

8/14(月)

ATさんとSKeさんは早起きして唐松岳に登ってきました。流石、若いから元気があります。朝食後準備を終え、山荘の前や唐松岳をバックに写真を撮り予定よりも若干早く出発しました。昨日までと違い歩きやすい登山道です。左手には切立った不帰嶮や稜線の先には白馬岳が時々見えます。八方池に到着し、池のほとりでコーヒータイム。生憎ガスが掛かり白馬岳は見えない。八方池を周り八方へ向けて出発。この辺から一面お花畑になっている。タカネマツムシソウ、タムラソウ、ヤマホタルブクロ、ハッポウワレモコウ、ウメバチソウ等、沢山咲いていました。八方池山荘からはリフトに乗り下山。登りのリフトは切れ間なく人が乗っています。人気の高さがうかがえます。リフトとゴンドラを乗り継ぎ八方に到着。

回送車の受取場所の駐車場へ向かう。回送業者と会うことなく車とキーを受取った。近くの八方の湯で4日間の汗を流し帰路についた。道路は今日・明日が渋滞のピークと言われていたが早く下山できたこともあり、渋滞が本格化する前に厚木に到着できました。

反省点

3日目のキレット小屋―五竜岳―唐松岳頂上山荘までのコースは予定時刻を1時間40分遅れで到着しました。岩稜やガレ場が続く高度感もあり、苦手な人もいました。募集時にもっと山行の状況をイメージしやすく書くことも必要だと感じました。

今回の山行ではキレットやガレ場を緊張しながらも無事にクリアできたのと、また雷鳥や沢山の花にも出会い充実したものとなりました。これはメンバーひとり一人が安全で楽しい山行になるように積極的に働きかけていただいた結果だと思っています。本当にありがとうございました。

―以上―